## No. 230【2016年10月14日配信】 下湯ダム(担当:村上)

昨日、こんにちは。嘱託員の村上です。この夏は各地で豪雨災害が発生し、青森市でも台風の接近・通過によって激しい雨が降りましたね。特に、8月30日は台風10号の影響により山間部で大雨となりました。

この大雨の影響で堤川・駒込川の水位が上昇したことから、8月30日から31日にかけて洪水 予報(氾濫注意情報)が出され、駒込川の流域では道路の冠水や住宅の床下浸水といった被害が 発生しました。現在、こうした被害を軽減するため、駒込川上流で駒込ダムの建設が進められて いるところです。

さて、今回の大雨では堤川においても水位が上昇しましたが、避難勧告の判断の目安となる「避難判断水位」を超えることはありませんでした。これは、上流の下湯ダムで川の水をため込み、下流に流れる水量を調節することができたからです。「barrage journal (駒込ダム建設所新聞)第108号」(平成28年9月 東青地域県民局地域整備部駒込ダム建設所)によると、ダムに流入する水は過去最大の量となり、ダムがなければ堤川の水位は「はん濫危険水位」を大きく上回ったと想定されるということです。



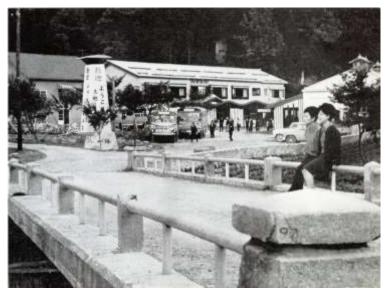
昭和44年の台風9号による洪水被害 (青森市市長公室調整課編『70 市勢要覧』)

下湯ダムは堤川上流の荒川地区にある多目的ダムで、昭和63年(1988)に完成しました。堤川の流域では昭和10年の豪雨、昭和33年の台風22号、昭和44年の台風9号などによる洪水で大きな被害が発生しており、抜本的な治水対策が求められてきました。また、昭和40年代には青森市で都市化の進行による地盤沈下が問題となり、その対策として地下水のくみ上げが規制されたことから、新しい水源として堤川水系を利用することが検討されました。加えて、農地へのかんがい用水の確保も必要でした。そうしたことから下湯ダムの建設が計画されたのです。建設に向けた予備調査は昭和42年に始まり、昭和49年から14年かけて工事が進められました。



下湯ダム

ダムが建設された場所にはかつて下湯温泉がありました。下湯温泉までは市営バスの下湯線が運行されており、青森市が発行する観光案内に紹介される人気の温泉地でした。残念ながらダム工事のため温泉旅館はなくなり、跡地は「あやめ公園」となりました。



下湯温泉 (『あおもり』青森市経済部商工課、昭和38年)

これからの季節、下湯ダム周辺では美しい紅葉を楽しむことができますので、ぜひ足を運んでみてください。

※今回の内容は『青森県土木五十年史』(平成12年 青森県土木部)『下湯ダム工事誌』(平成元年 青森県土木部河川課)、青森地方気象台ホームページなどを参考にしました。